

2019年 東北大学前期日程試験【国語】問題分析

1 今年（2019）の傾向

総評

昨年度以上に難度調整が巧妙になっており、受験生間の差がつく出題であった。昨年度は古典（古文・漢文）で感じた印象が、今年度は現代文（評論・小説）にも広がっている。誰にでも書ける内容に加えた $+\alpha$ に気づけた受験生が合格をたぐり寄せるのではないか。

現代文

硬く、読みにくい文章からの出題を避けた上に、例年よりも文章量が減った。しかし、本文の表現をそのまま使ったのでは制限字数をオーバーしてしまう、巧みな制限字数の設定が随所に見られ、本文の内容を逸脱しない、コンパクトで適切な言い換え能力が問われている。点差の出るよう、上手く難度が調整された良問だと言えるだろう。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

本文の内容を簡潔に言い換える訓練をたくさん積んで欲しい。

古文

男女間の一般化しづらい特殊な事例をエピソードとして挙げておきながら、最後に一般的な男女関係について答えさせる出題には戸惑いを覚えたかもしれないが、エピソードそのものの理解は易しい。しかし、内容ではなく文章表現が口語調のため読みにくさを感じた受験生も多数いたことと思う。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

今年度、明らかに難度は下がっているものの、過去問演習は必須である。

漢文

昨年度同様、語の意味や句法に関する問題は易しい。制限字数を伴う説明問題も、以前ほど字数制限が厳しくなく、誰にでもそれなりの答えは作れる。したがって、より多くの要素を解答に盛り込めたかどうかで差が出るだろう。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

漢文の学力は演習量に比例する。たくさんの文章を読み、たくさん問題を解いて欲しい。